

北海道インターハイあす開幕

全国高校総体（インターハイ）「翔び立て若き翼 北海道総体2023」が22日、北海道を主会場に開幕する。青森県勢は選手469人が出場。8月21日までの約1カ月間にわたり、各競技で日本一を目指して熱き戦いを繰り広げる。

県勢の活躍を展望すると、サッカー（7月25日～8月4日・旭川市ほか）の男子は、青森山田が2年ぶりの王座奪還へ臨む。バスケットボール（7月24～30日・札幌市）の男子は、東北大会4強の八学光星が全国ベスト8へ闘志を燃やす。

相撲（8月4～6日・北斗市）の団体は、今春の全国選抜大会を制した五農が優勝候補の一角。個人体重別100kg級の棟方聖蓮（弘前実）は連覇なるか。

レスリング（7月27～30日・札幌市）の男子個人は、久田鉄心（十和田工、65kg級）と弟の虎徹（工大一、60kg級）が兄弟でメダル獲得を目指す。

ボクシング（7月29日～

バスケット 東北大会4強 光星、ベスト8へ闘志

自転車 県記録更新の小笠原（八戸）表彰台狙う

アーチェリー 東北王者 沼尾（三恵拓）本領発揮なるか

8月4日・札幌市）では、昨年のライト級王者・秋元啓介（青森山田）が階級を一つ上げてライトウエルタ1級で全国の強豪に挑む。ミドル級の下浅永久（工大一）も上位をうかがう。

自転車（8月5～9日・函館市）では、男子スプリントで県記録を更新した小笠原権（八戸工）、全国選抜大会女王の室谷優音（青森商）が表彰台を狙う。

アーチェリー（8月9、10日・帯広市）の男子個人は、東北王者の沼尾大輝（三恵拓）が全国の舞台でも本領発揮なるか。

体操（8月2～5日・札幌市）の女子は、全国選抜大会の床運動を制した松田里奈（弘学聖愛）に表彰台の期待がかかる。弘学聖愛は団体でも上位入賞を視野に入れる。

バドミントン（8月16～21日・札幌市）は精鋭ぞろい。全国選抜大会で優勝した女子の清瀬璃子、平本梨々菜（いずれも青森山田）らの戦いぶりに注目だ。

（磯野雄太郎）